

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成16年9月2日(2004.9.2)

【公表番号】特表2000-507301(P2000-507301A)

【公表日】平成12年6月13日(2000.6.13)

【出願番号】特願平9-534356

【国際特許分類第7版】

C 0 9 D 4/00

B 0 5 D 1/04

B 0 5 D 5/12

C 0 9 D 5/46

【F I】

C 0 9 D 4/00

B 0 5 D 1/04 H

B 0 5 D 5/12 B

C 0 9 D 5/46

【手続補正書】

【提出日】平成15年7月8日(2003.7.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成15年7月 8 日

特許庁長官 太 田 信一郎 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第534356号

2. 補正をする者

名称 ミネソタ マイニング アンド マニュファクチャリング
カンパニー

3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル

青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751) 石 田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

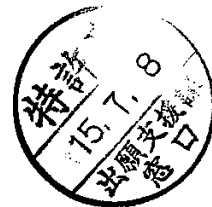
6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正します。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1 通



方 式 査 査



請求の範囲

1. a) 1種以上のフリーラジカル重合性モノマーと、
b) カチオン部分とアニオン部分とを有し、前記モノマーに可溶性であると共に重合を妨げない1種以上の不揮発性の導電性増強剤であって、該アニオン部分が親有機性の炭素含有非配位アニオンである導電性増強剤と、を含む、静電補助によって基材に塗布されることができるフリーラジカル重合性組成物。
2. 前記親有機性の炭素含有非配位アニオンが更に、
(a) 少なくとも 200kg/kmolの式量を有することと、
(b) アルキル、シクロアルキルおよびアリールスルホナート、フルオロアルキルスルホニルイミド、フルオロアルキルスルホニルメチド、アリールボラート、カルボラン、メタロカルボランおよびホウ素カテコレートからなる群から選択されることと、または
(c) フッ素化されていることと、のうちの少なくとも1つを特徴とする請求項1に記載の組成物。
3. 配合されたときに静電補助手段によって適用されるには不十分な導電率を有する1種以上のフリーラジカル重合性モノマーと任意に1種以上の開始剤とを含む組成物を適用する方法であって、
(a) 1種以上の導電性増強剤と任意に1種以上の解離促進剤とを該組成物に添加して塗布組成物を生じるステップと、
(b) 該塗布組成物を静電補助によって基材に適用するステップと、次に、
(c) 該塗布組成物を重合させるステップと、を含む方法。
4. a) 第1と第2の側面を有する裏材料と、
b) 2つの側面を有し、そのうちの1つの側面が該裏材料の第1の側面に塗布された接着剤層と、
c) 請求項1記載の重合させられた組成物を含む該裏材料の第2の側面上の剥離層と、を含む基材。
5. 請求項1に記載の組成物が、少なくとも1つの主表面の少なくとも一部に電気吹付けされている、2つの主表面を有する基材。